

## 交換留学帰国報告書

記入月日: 令和2年7月6日

氏名: 宇野 晴佳

留学時所属&学年: 国際地域学部 4年

留学先大学	天主教輔仁大学
留学先国	台湾
留学期間	1学期間
留学開始一終了日	2020年2月13日 - 2020年6月30日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を  希望します ・  希望しません

月例報告書：公開を  希望します ・  希望しません

### 【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

学部の卒業要件だったから。

日常で英語を話す機会を増やしたかったから。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学に行けることが決まってからとりあえず中国語の本を買った。

私は第二言語で中国語を選択していなかったので、留学前にピンインや簡単な文法、単語から勉強を始めた。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

助言教員と相談している中で台湾に興味を持ち、日本から近くてごはんも美味しそうだったことから台湾を希望した。あと、台湾は英語教育が良いと聞いていたことも理由の一つだった。情報収集は、実際に留学をされた先輩方の報告書を読んだり、直接話を聞いたりした。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

大学で行われる TOEFL を何度か受けた。

文法はパターンが決まっているので、同じ文法書などを繰り返し解いてよく間違える問題を確

認していた。リスニング対策としては、ほぼ毎日なにかしらの形で英語を聞くようにしていた。私は速読が苦手だったので、時間を測って毎日一問はリーディングの問題を解いて、毎回出てきた単語をチェックしていた。あと、授業外で TOEFL 対策講座を開いてくださっていたものにも参加していた。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

助言教員の先生には、留学先や履修に関して相談に乗っていただき、とてもお世話になった。また、国際課の方のサポートはとても助けになり、サポートしていただいたからこそ準備をちゃんとできたと思う。留学を経験した人の話もとても参考になった。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

同じ大学に留学されていた先輩のものを参考にした。ただ、出発前に考えていたものから実際に履修したものはかなり変わった。ルームメイトに前の学期から留学している日本人がいたので、その子にどの授業が良いかを聞いて考えた。色々教えてくれる。日本語学科に所属するなら、英語開講科目ばかりにこだわらず日本語学科の授業もいくつか履修することをおすすめする。台湾人の友達を作りやすいし、日本語が上手い人が多いので色々分からないことを聞ける。

## 【留学中: 大学生活や日常生活について】

### A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

緑豊かでとても広い。  
大学のある日は学生がたくさんいて賑やか。休みの日はおじいちゃんがトレーニングしていたり、家族連れが大学のキャンパス内でバドミントンをしていたり、とても穏やか。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

Wi-Fi が使える。図書館や食堂がたくさんある。ジムも安い値段で利用できる。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

なし

## B. 授業や勉強

### 1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none"><li>●科目名(担当教員名): Globalization and Higher Education ( 莊俊儒 )</li><li>●時間数/週(単位数): 2時間/週(2単位)</li><li>●クラスの学生数: 約 30 名</li><li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 共通教育の講義で、ほぼ英語で行われる。グローバル化とは何かの講義を、グループディスカッションを交えて数回受けた後、一人一人グローバル化における教育に関してプレゼンテーションを行い、レポートを提出する。テストはなし。先生が優しい。日本の情勢についてよく話を振られるので、ある程度知っておく必要がある。</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>●科目名(担当教員名): 台日文化比較 ( 岩崎良美 )</li><li>●時間数/週(単位数): 2時間/週(2単位)</li><li>●クラスの学生数: 約 50 名</li><li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本語学科の授業で、台湾と日本の文化を比較する。グループワーク中心。日本人留学生は大体履修している。台湾の学生との交流が多いので、友達ができやすい。テストはなく、グループプレゼンテーションが一つ最後にあった。</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>●科目名(担当教員名): 進階翻譯實務 ( 賴怡真 )</li><li>●時間数/週(単位数): 2時間/週(2単位)</li><li>●クラスの学生数: 約 50 名</li><li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本語学科の授業で、日本語の文学などを中国語に翻訳する。台湾の学生が翻訳したものを黒板に書き、先生が解説していく。中国語があまり分からない留学生は、黒板を写すだけでよい。毎回翻訳をしたものを提出する必要がある。内容は割と長文だが、分からないところは先生が親身に教えてくれる。中間・期末テストは、先生が範囲を教えてくれるので、それを暗記して臨む。</li></ul>
4	<ul style="list-style-type: none"><li>●科目名(担当教員名): 翻譯(中譯日) ( 横路啟子 )</li><li>●時間数/週(単位数): 2時間/週(2単位)</li><li>●クラスの学生数: 約 50 名</li><li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 日本語学科の授業で、中国語から日本語に翻訳する。観光や契約書、新聞などにおける翻訳をみんなで行っていく。グループワーク多い。台湾や日本の文化を交えて授業が進んでいき、言語間の微妙なニュアンスの違いなどを考えて翻訳する。台湾と日本の間で翻訳をする職に就こうとしている学生は受講すると思う。たまに翻訳の</li></ul>

	課題が出される。期末テストのみあるが、それほど難しくない。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名): 台日新聞專題 ( 安西真理子 )</li> <li>●時間数/週(単位数): 2時間/週(2単位)</li> <li>●クラスの学生数: 約 30 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</li> </ul> <p>日本語学科の授業で、台湾と日本のニュース動画を見て比較する。グループワーク。毎回様々な時事ニュースを見て、グループで討論し、グループごとに討論内容を発表する。留学生は、中間テストはなく、期末テストでは感想を日本語と中国語で書くものだった。テスト免除の代わりに、毎回形式自由のレポートを提出する必要がある。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

自分の意見をちゃんと言うことと、分からないところはスルーせずに質問することを心掛けていた。自分のレベルに合った復習を毎回するようにしていた。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

まだ全く話せない段階でも、夜間の中国語クラスで新たに学んだことを実際に使って話してみる。日本人のルームメイトともたまに中国語で話す時間を作ったり、一緒に分からないところについて考えたりしていた。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

グループワークが多い。講義中の発言も日本より積極的で、先生の講義に対する学生の反応がとてもよい。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

横路先生はとてもよい先生だと日本語学科の色んな人からよく聞く。コロナウイルスが流行していた時の留学だったが、マスクが足りているのかいつも気にかけてくださっていた。何事も親身に相談に乗ってくださる。

## C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他( )
部屋人数	( 4 )人部屋
寮・アパート名	文徳宿舎
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他( )
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他( )
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) トイレ、シャワー、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、給水機

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

キャンパス内にいくつか食堂やコンビニがあり、大学の周りにもスーパーや飲食店がたくさんある。生活用品も大学周辺で大体揃えられる。MRT で 2 駅ほど行くと IKEA もあったはず。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地銀行は開設せず、キャッシュパスポートで現金を引き出していた。  
クレジットカードは航空券の購入時に使った。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

日本のちょっとしたお土産。G ジャン(肌寒い日もあった)。  
渡航直後に部屋で履くスリッパがあれば便利(シャワー室にも履いていけるようなもの)(現地でも買える)  
布団などは寮で安く買えて大学周辺で日用品も買えるため、あまり心配はいらない。  
虫によく刺されるので虫刺され用の薬などがあるといいかも。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨 = 台湾ドル )(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約 58,000 円	食費	約 30,000 円
保険代	約 120,000 円	家賃	約 3,600 円
予防接種・ビザ代	約 23,000 円	教科書代	約 3,000 円
交際費(外食等)	約 50,000 円	その他	約 42,000 円

合計: 約 33 万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

地下鉄などでは飲食禁止。

#### D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

大学には付属病院がある。徒歩ですぐ行けるとところに薬局があり、コロナウイルスが流行していた時にマスクを買うことができた。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

していない

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

胸部 X 線検査、梅毒血清検査、麻疹風疹の予防接種が必要だった。  
風邪薬、頭痛薬、酔い止め、正露丸などを持参した。

## 【留学後：成果や今後の進路について】

### 1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前は、英語を中心に勉強しようと考えていた。中国語についても第二言語として勉強してこなかったが、夜間に留学生のための中国語クラスがあると聞いていたのでそこで頑張ればいいと思っていた。しかし、実際の生活では中国語を使う機会が多く、中国語の基礎も勉強してこなかった私は、まず英語よりも中国語の習得に軸を置くことにした。特に心掛けていたこととしては、毎回授業の課題をやりながら、分からなかったところや新しく出てきた単語をできるだけその日中にまとめる習慣をつけ、やらないといけないことを溜めないようにしていた。

また、私が留学を楽しめたことの大きな理由の一つにルームメイトに恵まれたことが挙げられる。私のルームメイトは3人の日本人で、そのうち2人は日本の大学で中国語専攻、1人は英語専攻の子だった。普段はしょうもないこととかをずっと喋っているが、分からないことを議論したり中国語や英語でおしゃべりしたりと一緒に勉強もできる仲間で、ルームメイトと過ごす時間はとても楽しく、私にとってとても強い味方であった。

一番中国語の習得のために役に立ったと感じるのは、夜間にある留学生のための中国語クラスで、自分のレベルに合った内容を学べるので、基礎からしっかりやれてとても力になった。そのクラスには様々な国籍の留学生がいたため、そこで仲良くなった人や英語開講のクラスで一緒だった人とは英語で会話することが出来た。

留学中の目標として誰に対しても積極的に自分から話しかけることを意識していたが、達成できたかという点で半々だと思う。初めは、自分からいっぱい話すぞと意気込んでいるが、上手く英語などで自分の言いたいことを伝えることや話を広げることが出来ず、落ち込むことが多々あった。留学する前から福井大学でもっと英語を話す機会を作っていたらよかったと思った。しかし、私の拙い英語や中国語に付き合ってくれる人もいて、上手く話せないからといって人と関わるのを臆せずに友達との時間を大事にしていたことはとてもよかったと感じる。

私は、新型コロナウイルスの影響で1か月半ほどしか天主教輔仁大学にいたことはできなかったが、学んだことはたくさんある。実際にこの時期に留学していたからこそではあるが、感染症に対する台湾人の意識の高さなども知ることができ、日本の政治に対してもっと関心を持つと思った。留学を終えて変わったことは、一年間、もしくはそれ以上留学したいと思うようになったことだ。

### 2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

英語をあまり日常で使わなかったため、英語力を伸ばすことができなかった。

中国語も、夜間クラスで学んだ単語などは使えたが、友達と中国語で話すということができなかった。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

中国語をもっと勉強して、日常会話ができるようになりたい。

進路についてはまだ考え中だが、日本に住んでいる外国人のサポートができるような職業に就きたい。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

私は、輔仁大学に留学するまでそんなに留学に行きたいと思ったことはありませんでした。英語やコミュニケーション能力に自信があるわけでもないし、行くとしても一年間はちょっと長いなと思っていました。ですが、輔仁大学は日本語学科があるため、日本人の教授だけでなく、日本語をある程度話せる台湾人学生もたくさんいて、何か困ったことがあっても助けてもらえるし、バディもいるので何でも聞きやすい環境です。英語の授業も開講されていて、日本以外の留学生とも交流でき、英語を伸ばすこともできます。英語学科もあるので、そこに所属するといと思います。

また、今回の留学でルームメイトに出会えたことが私にとってとても大きいです。全員日本人だと英語を使う機会にならないと思うかもしれませんが、日本人だからこそ何かあった時に助けてもらいやすかったり、不安なことやたわいもない話を気軽にしたりすることが出来るので、心強いです。4人部屋はちょっと人数が多いなと初めは思っていたのですが、いろいろ情報共有ができました。留学に行くと、台湾人や他の国からの留学生はもちろん、日本の各地から来ている留学生との出会いもあり、そこから得られるものもあることは確かです。

輔仁大学の寮は大学内にあり、大学の周りには美味しいお店がたくさんあります。台湾は暑いので、空きコマなどによく大学周辺のお店にタピオカやフルーツジュースなどを買いに行っていました。台北にもアクセスしやすいところに立地しています。台中や台南などもそれほど遠くないので、ぜひ留学中に台湾一周してみたいなと思います。

私はこの留学を通して台湾がとても好きになりました。留学もしてよかったなと思っています。本来は一年間行く予定だったのですが、もっと長い期間生活してみたいとも思うようになりました。英語や中国語のスキルアップに関しては、個人の努力次第でかなり変わると思います。留学に対して何かしら不安を抱えている人も多いと思いますが、何か一つ留学生活の中で楽しみを持つといいかもしれません。私は毎日ごはんを楽しみにしていました。

私の経験が参考になるかは分かりませんが、これから留学に行かれる皆さんが楽しく実りのある留学生活を送れることを願っています。